

アラート「work queue paused, XX msgs, antispam」または「work queue paused, XX msgs, antivirus」は何を意味しますか。

目次

[はじめに](#)

[アラートの「work queue paused, XX msgs, antispam」または「work queue paused, XX msgs, antivirus」の意味](#)

[この work queue paused \(作業キューの一時停止 \) イベントを修正する方法](#)

[確認](#)

[「work queue resumed」通知の意味](#)

[「work queue resumed」通知を受け取らなかった場合に行うべきこと](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、スパム対策プロセスまたはウイルス対策プロセスに関連する作業キューの一時停止イベントに関する重大なアラート通知の意味、これらのイベントの修正を試みる方法、および Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) に関連するポストイベント通知について説明します。

アラート「work queue paused, XX msgs, antispam」または「work queue paused, XX msgs, antivirus」は何を意味しますか。

スパム対策およびウイルス対策のそれぞれのルールおよびサービスの更新時、プロセスではそれらが完全にダウンロードされて更新されるまで、作業キュー内でのメッセージの処理を一時停止します。更新ファイルのサイズが通常よりも大きいことがあり、その場合、処理と更新に少し長く時間がかかります。このため、アラートが生成されます。

また、使用中のアプライアンスでネットワークの中断、不適切な再起動、またはサービスに影響を与える他のイベントが発生した場合、更新プロセスが古くなったり破損したり、正常に完了しないこともあります。

antispam に関する work queue paused の例 :

```
The Critical message is:
```

```
work queue paused, 98 msgs, antispam
```

```
Version: 8.5.6-074
```

Serial Number: XXYDBE08931-XXYKKN1
Timestamp: 28 Apr 2014 11:37:39 -0500

antivirus に関する work queue paused の例 :

The Critical message is:

work queue paused, 134 msgs, antivirus

Version: 8.0.1-023
Serial Number: 848F69E7XXYY-XXYYJ5J
Timestamp: 06 May 2014 13:56:38 +0200

この work queue paused (作業キューの一時停止) イベントを修正する方法

CLI で、コマンドの **antispamupdate ironport force** または **antivirusupdate force** を使用すれば、更新を強制的に完了させることができます。更新が完了するのは、ESA がシスコの更新サーバにアクセスし、完全かつ最新の IDE を取得し、また完全かつ最新のスパム対策エンジンまたはウイルス対策エンジンも取得してから、対象のアプライアンスにバックグラウンドでこれらを再適用したときです。

antispamupdate ironport force の例 :

```
> antispamupdate ironport force
```

Forcing updates for CASE rules.

antivirusupdate force の例 :

```
> antivirusupdate force
```

Sophos Anti-Virus updates:
Requesting forced update of Sophos Anti-Virus.
McAfee Anti-Virus updates:
Requesting update of virus definitions

確認

ESA 上の CLI で **tail updater_logs** を実行してウイルス対策更新のプロセスを表示できます。これによって、アプライアンスによるシスコの更新サーバとの通信およびマニフェストが保証され、更新の完了も確認できます。

updater_logs およびスパム対策更新の成功の例 :

```
Mon Aug 18 11:32:55 2014 Info: case verifying applied files  
Mon Aug 18 11:32:55 2014 Info: case updating the client manifest  
Mon Aug 18 11:32:55 2014 Info: case update completed  
Mon Aug 18 11:32:55 2014 Info: case waiting for new updates
```

updater_logs およびウイルス対策更新の成功の例 :

```
Wed Jul 23 09:41:13 2014 Info: sophos verifying applied files
Wed Jul 23 09:41:13 2014 Info: sophos updating the client manifest
Wed Jul 23 09:41:13 2014 Info: sophos update completed
Wed Jul 23 09:41:13 2014 Info: sophos waiting for new updates
```

上の各行が表示されたことを確認できれば、要求された関連の更新の正常な要求と更新が行われたことが示されています。

「work queue resumed」通知の意味

一時停止イベントの後に作業キューの処理に正常に戻ると、「work queue resumed, XX msgs」という通知を受け取ります。これは、作業キューのメッセージ処理が自動的に再開したことを意味しています。これらのアラートは情報を提供するタイプの別のアラートで、作業キューが処理を再開するとそれ以上のアクションは必要ありません。

例：

```
The Critical message is:
```

```
work queue resumed, 0 msgs
```

```
Version: 8.0.1-023
```

```
Serial Number: 848F69E7XXYY-XXYYJ5J
```

```
Timestamp: 06 May 2014 14:00:00 +0200
```

workqueue status と **workqueue rate 10** を使用して、作業キューの状態を直接確認することもできます。 **workqueue status** コマンドは、作業キューが処理可能か、まだ一時停止中か、オフラインか、などを確認するために使用します。 **workqueue rate 10** は、保留メッセージ、入力メッセージ、および出力メッセージに関する、実際の作業キューの処理の出力を表示し、またこの更新されたスナップショットを処理の 10 秒ごとに出力します。

例：

```
> workqueue status
```

```
Status as of: Mon Aug 18 11:49:59 2014 EDT
```

```
Status: Operational
```

```
Messages: 5
```

```
>workqueue rate 10
```

```
Type Ctrl-C to return to the main prompt.
```

```
Time Pending In Out
```

```
11:50:06 0 5 5
```

```
11:50:16 0 0 0
```

```
11:50:26 0 0 0
```

注: CLI では、アプライアンスの作業キューの完全な制御と操作のために **workqueue** コマンドを使用してください。

「work queue resumed」通知を受け取らなかった場合に行うべきこと

元の「work queue paused」通知から 15 分が経過しても「work queue resumed」の通知を受け取らなかった場合、これは ESA の作業キューに関してより深刻な問題が発生していることを示している可能性があります。CLI で、**status** を実行して、「System status」に「Online」と表示され、メールが作業キューで実際に処理されているかどうかを確認してください。状態に「Work Queue Paused」と依然表示される場合は、Cisco Technical Assistance に連絡して支援を受けてください。

status および予期される出力の例：

```
> status

Enter "status detail" for more information.

Status as of: Mon Aug 18 11:44:45 2014 EDT
Up since: Wed Aug 13 17:06:09 2014 EDT (4d 18h 38m 36s)
Last counter reset: Never
System status: Online
Oldest Message: No Messages
Feature - Sophos Anti-Virus: 334 days
Feature - Bounce Verification: 334 days
Feature - IronPort Anti-Spam: 334 days
Feature - IronPort Email Encryption: 334 days
Feature - RSA Email Data Loss Prevention: 334 days
Feature - Incoming Mail Handling: 335 days
Feature - Outbreak Filters: 334 days

Counters: Reset Uptime Lifetime
Receiving
Messages Received 132 17 132
Recipients Received 134 18 134
Rejection
Rejected Recipients 1,400 182 1,400
Dropped Messages 0 0 0
Queue
Soft Bounced Events 51 0 51
Completion
Completed Recipients 156 20 156
Current IDs
Message ID (MID) 1556
Injection Conn. ID (ICID) 11208
Delivery Conn. ID (DCID) 178

Gauges: Current
Connections
Current Inbound Conn. 0
Current Outbound Conn. 0
Queue
Active Recipients 0
Messages In Work Queue 0
Kilobytes Used 0
Kilobytes Free 8,388,608
Messages In Quarantine
Policy, Virus and Outbreak 0
Kilobytes In Quarantine
Policy, Virus and Outbreak 0
```

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)

- [ESA に関する FAQ : Sophos または McAfee のウイルス対策の更新を強制的に即座にダウンロードする方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)